



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町7-16

tel : 049-226-2491 fax : 049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA、7-16 Sugawara-cho、Kawagoe、Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 20-09

3月号

発行 2019年4月10日

Chartered 1998

会長	森下 千恵子	クラブ会長主題	「ワイズメンズクラブを楽しもう！」
副会長	松川 厚子	国際会長主題	“Yes, we can change” [私たちは変えられる]
会計	山崎 純子	アジア太平洋地域会長主題	“Action” 「アクション」
書記	吉野 勝三郎	東日本区理事主題	「成せば、成る」 No challenge, No fruit.
		関東東部部長主題	「良いものを見つけ・つなげて、よくなるう」

4月の聖書

野原の花がどのように育つかをかんがえてみなさい。—
中略— 今日野にあって、明日は炉へ投げ込まれる草
でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなた
がたにはなおさらのことである。

新約聖書 ルカによる福音書 12章 27・28節

Consider how the lilies grow. -- If that is how God
clothes the grass of the field, which is here today, and
tomorrow is thrown into the fire, how much more will
he clothe you, O you of little faith!

(Luke 12: 27・28)

2019年3月の統計 (3月22日)

在籍11名 出席者9名 (含MU) 出席率 82%

2019年 4月 例会予告

日時: 4月13日 (土) 午後5:00 ~ 7:00

場所: 埼玉YMCA 所沢センター

議題: フィリピン・ワーク・キャンプの報告を聞
きます

埼玉県内3クラブ合同会として開催しますので、多
くのメンバーの参加を期待します。

3月例会の報告

吉野 勝三郎

1. 開会

点鐘・信条

2. リーダーボランティア送別会

今年、大学生生活4年間フルにボランティアリ
ーダーとして奉仕してくれた、“あーるリーダー”
こと、木下 遥七 (きのした はるな) さんに対
する感謝会・送別会を、川越センターの隣にある、
フランスレストラン、“ロアゾーブルー”で開催
しました。

明るく、華やかさのある、木下さんは、学業以
外のすべての時間をYMCAのために捧げてくれ
たと言っても過言ではないほどだったそうです。

卒業後は都内で仕事に就かれるそうですが、必
ずや、このYMCAでのボランティアの貴重な経
験が、新しい業務の上に活かされることと信じま
す。

彼女の挨拶の中で印象に残ったのは、“自分が一
番苦手だと思っていた、IT関係を勉強しました。
自分の不得意分野を減らしておけば、それだけ自
分の可能性が広がると思ったからです。”この発想
には脱帽です。大体の人は、自分の得意分野を伸
ばそうと思うのではないのでしょうか。逆転の発想
です。

今後も、YMCAとワイズを忘れずに、機会
のある毎に、訪ねて欲しいと思います。





3. 20周年記念例会準備確認
- －会場の東武ホテルとの打ち合わせ状況
 - －他クラブの記念例会参加の確認
 - －当日のプログラム確認
 - －当日配布予定の資料作成
- などが、話し合わせ、予定時間を超過しての解散となりました。

4. 閉会点鐘

狭山丘陵ウォークに参加して

森下 千恵子

平成 31 年 3 月 30 日（土）所沢クラブ主催の第 4 回狭山丘陵ウォークに参加いたしました。前回の狭山丘陵ウォークに続き私個人では 2 回目の参加になります。

当日の朝本川越駅で利根川ご夫妻と吉田さんと待ち合わせて入曽駅に行きました。一年前の道はすっかり忘れていたところ入曽駅西口を出たところで所沢クラブの東さんが待機していて下さり地図をもらって水野の森ロッジまで行きました。山本さんと二人のお嬢さんもすでに着いていました。

大事なお弁当の注文とお団子の申し込みをしました。今年は寒いな。でも参加できて良かったなどと喜んでいました。毎日 12 時間強のデスクワークに通勤はドアトゥドアの自動車通勤。もうすでに身体はブレイク状態まで悲鳴をあげています。小関さんの号令で楽しく準備体操をしました。小関さんの号令も怪しいけど、私の両手両足の動きはもっと怪しい。まずい、ボケないように家に帰ってからもう一度おさらいしなければ。

おおたかの森トラスト代表の足立圭子さんにガイドをしていただき里山を歩きはじめました。運動不足と寒さのせいで私は歩く気満々。でも、足立さんは数メートル歩いては立ち止まって説明してくださりあまり前には進みません。足立さんの熱心なご説明にもかかわらず私の灰色の脳みそは、植物の名前も昆虫の名前も写真を見せて頂いたにも関わらず右から左に抜けていく。悲しい…。唯一覚えたのがウグイスカグラでした。小さく下に開いたベルのような赤みのある花を咲かせていました。説明がなければ花とは気づかなかったかもしれません。

狭山丘陵ウォークと書きましたが実際には丘陵ではなくとても平坦な里山を歩きました。足立さんたち

は里山の乱開発を防ぐため行政に呼び掛けたり、独力で里山を買い取ったりしているそうです。行政に協力を呼びかけるのはわかりますが、買い取りまでする情熱には脱帽しました。また、2020 東京オリンピック建設のためかつて入間川が流れていた里山から川砂利採掘のための土地の売買などがここまで及んでいることには驚きました。

里山は入間市と狭山市に広がっており二つの行政で里山に対する考えの違いがあり、里山の保全が難しいという問題も考えさせられました。市民の声がないからと行政がいうのならば要望や陳情という形で文書にして行政に訴える方法もあるのではないかと思います。

寒さに鼻水を流しながらようやくお団子屋さん



つきました。歩いた後のお団子はお醤油味のしょっぱさがおしかったです。寒さのため午後のトトロの森は行きませんが、体験型の身近な環境を考えるととても素晴らしいイベントでした。所沢クラブの皆さまボランティアの方々、ガイドの足立さん本当にありがとうございました。

東京サンライズワイズメンズクラブ設立 30 周年記念例会報告

利根川太郎

平成 30 年度末の 3 月 23 日(土)に日本橋のブラッセリー東洋に於きまして、東京サンライズワイズメンズクラブ設立 30 周年記念例会が開催されました。参加したワイズメンバーは 80 数人を数え、会場が狭く感じるほど盛況でした。川越ワイズメンズクラブからは、あいにく皆さんの都合がつかず、利根川が代表して参加して参りました。東京サンライズクラブは平成元年に創立され、この平成最後の年に 30 周年を迎えた、

まさに平成とともに歩んできたクラブです。

横浜つるみクラブ設立総会報告

利根川恵子

去る3月17日(日)14時から、横浜市鶴見中央ケアプラザにおいて、横浜つるみワイズメンズクラブの設立総会があり、森下千恵子会長ともども参加いたしました。

新クラブは、昨年度に設置された湘南・沖縄部エクステンション委員会(横浜つづきクラブ・辻剛委員長)が積極的に動いた結果、なんと1年半で設立総会に至るという極めて短期間での設立となりました。またクラブではなく湘南・沖縄部がスポンサーという、これも今までにはない設立の形です。さらに、新会員は、会場のケアプラザで行われている「うたごえ広場」(つづきクラブ・久保勝昭ワイズが主宰)の参加者が中心で、久保ワイズ以外はすべて女性のメンバー7名で構成されていることも特徴です。

設立総会では、順調に議事が進行し、初代会長には久保勝昭ワイズが就任し、田口努・横浜YMCA総主事、田中博之・アジア太平洋地域会長、宮内友弥・東日本区理事が祝辞を述べました。湘南・沖縄部においては9年ぶりの新クラブだそうで、設立に尽力された部エクステンション委員会のメンバーはじめ部や区の関係者に限りない敬意と感謝が表されました。総会最後に久保新会長からご挨拶がありました。何度かこみ上げる涙をこらえる場面が見られ、これまでのご苦労が偲ばれました。

和やかな懇親会ではアジア太平洋地域大会のアピールに加えて、川越クラブ20周年記念例会のアピールもさせていただきました。それが効を奏したのでしょうか。新横浜つるみクラブ・久保初代会長が、20周年記念例会にご参加くださいます。是非みなさんからも、お祝いとお励ましをお願いいたします。そして6月16日(日)のチャーターナイトには、川越からもたくさん参加していただいて、新クラブのチャーターを祝うとともに、関東東部でも部をあげてエクステンションに邁進する機運を盛り上げるエネルギーを吸収してまいりましょう。

横浜つるみクラブが今後大きく羽ばたくことをお祈りいたします。



第1部 記念例会 会場が狭く感じるほどの盛況ぶり



長津メンによる記念事業紹介

記念例会では、東京サンライズクラブの30年の歩みが写真で紹介され、あちらこちらから「懐かしい」「あんなに若い!」などの声が上がっていました。

サンライズクラブは設立当初から「山中ワーク」として山中湖センターでワークキャンプを行っていて、30周年にあたりグリーンチャペルの改修を記念事業として行うそうです。

川越クラブは、所沢クラブの澁谷会長、大沢さん、東さんの協力を得て「20周年記念例会」のアピールを行いました。何名かその場で申し込んでいただいたワイズもいて、アピールは大成功だったと思います。

たくさんの方が賑やかにお祝いをする盛会となりました。多くの皆様とのつながりに感謝し、川越の20周年も楽しい会になることを祈って会場を後にしました。





に於て、クラブメンバー全員が、過去を振り返り、この20周年を機に、決意を新たに、これからの川越クラブの活動に取り組む意欲を感じ取ることで出来るものです。4月27日の川越ワイズメンズクラブ20周年記念を多くの皆さんとお祝いしたいと思います。

毎月、ブリテンを編集して思いますが、本当に多くのクラブで多くの活動がなされていることに圧倒されます。聖書に、“小さい群れよ恐れるな！”という言葉があります。21周年を迎える、わが川越クラブの活動がより良い実を結ぶことが出来るようにと切に祈ります。

今月も最後までお読みいただきありがとうございました。次号もよろしく。

2018-19年度 川越ワイズメンズクラブ 書記
吉野 勝三郎

YMCA 報告

<2019 年度もよろしくお願いたします>

2019年4月5日、所沢センターにおきまして新年礼拝が行われました。

川越センターの人事に関しましては、引き続き河合今日子、近山智美の2人体制です。今年度も川越ワイズメンズクラブの皆様をはじめ、地域の方々と協働しながら、より一層パワフルなセンターにしていきたいと思っております。どうか今年度も変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記に代えて

私が川越クラブの皆さんから仰せつかった、“川越ワイズメンズクラブ20周年記念”の冊子の編集を進めています。まずは、現在の11名のクラブメンバー全員から原稿をいただくことができました。これらのメッセージは、私の次年度のテーマである、

20周年を次の20年へ！！

20th Anniversary for the Next 20 Years !!

